

折に触れ 四字熟語

NO. 143 『蟄居屏息』 ちつきよ へいそく

< 意味 > 家にこもって外出せず、じっと隠れていること。
「蟄居閉門」^{ちつきよへいもん}も同義語です。

語 釈 : 「蟄居」は動物や虫が冬眠しているように、一つの場所にとどまって、じっと隠れていること。「屏息」は「屏気」と同じで、息を殺してじっと隠れていること。江戸時代、公家・武士に科した刑罰の一つで、外出を禁じて一室に謹慎させたもの。

一 言 : 「蟄居閉門を申し渡す」とはよく時代劇映画で観るシーンですが、目下の私の日常生活そのものです。コロナウイルスの感染を恐れてどこにも外出できず辛い毎日を過ごしています。

参照文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」